

製品名: DPF2 (12O14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10126**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:10-1:100
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	DPF2
別名	BAF45D; DPF2; REQ; UBID4;
遺伝子 ID	5977.0
SwissProt ID	Q92785
免疫原	ヒト DPF2 の合成ペプチド

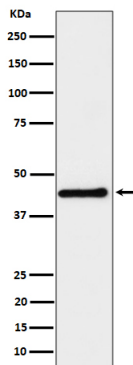
背景

骨髄細胞から生存因子が除去された後のアポトーシス応答に必要な転写因子である可能性がある。リンパ球細胞の発達と成熟にも関与している可能性がある。修飾ヒストン H3 および H4 に結合することで転写制御に積極的な役割を果たす (PubMed:28533407、PubMed:27775714)。造血前駆細胞の骨髄球系分化を抑制する因子である (PubMed:28533407)。リンパ球細胞の発達と成熟にも関与している可能性がある (類似性に基づく)。非典型的な NF- κ B 経路の制御に関与する (PubMed:20460684)。

研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の DPF2 発現のウェスタン プロット分析。